

【No.60】

(単位:千円)

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	当初	繰越明許
事業名	大学相互協力事業								
政策(4つの柱)	連携と結集			協働化					
担当部局・所属	総務部			総合政策課					
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源			
597						597			

【事業の背景・目的】

大学が所有する財産(教授、学生、施設、文献、機会等)を活用し、市単独では解決が困難な地域課題に協力して取り組み行政サービスの向上を図ります。

【事業の概要】

協定締結に関する協議等を実施

<平成27年度までに大学と協力して取組んだ主な事業>

- ・慶應義塾(福澤諭吉先生記念講演会)
- ・大分大学(産婦人科医育成地域密着型後期研修プログラムの研究・構築)
- ・別府大学(アーカイブズ講座、沖代条里調査)
- ・APU(観光地の国際化対応に関する協議)
- ・神戸大学(連携協定締結予定)



【期待される効果】

大学側は研究材料・実践の場を得ることができ、自治体側は地域課題の解決や学生らとの交流による活性化につながります。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	(継続)	(当初)	繰越明許
事業名	太宰府市交流事業								
政策(4つの柱)	連携と結集			協働化					
担当部局・所属	総務部			総合政策課					
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源			
192						192			

【事業の背景・目的】

旧耶馬溪町と太宰府市が友好都市協定を締結していたが、合併により行政間の交流が自然消滅していたため、平成26年11月に太宰府市との友好都市承継盟約宣言・協定締結式典を開催しました。太宰府市と市民レベルでの交流を促進し、両市の活性化を図ることを目的とします。

(参考)

太宰府天満宮で祀られている菅原道真公がかつて京都から太宰府に移る際に、初めて踏んだ九州の地が中津市といわれており、その際に滞在した場所では道真公を祀る犬丸天満宮があります。また、初代中津城主黒田官兵衛が晩年福岡に移った際に、荒廃していた太宰府天満宮に居を構え、再興に尽力したといわれるなど、中津市と太宰府市は歴史的に多くの繋がりを持っています。

【事業の概要】

- ・太宰府市との交流に関する協議（友好都市記念給食等）
- ・太宰府市民政庁まつり等のイベントにてPR活動などを実施



【期待される効果】

これまで培ってきた友好関係の継承と新たな交流により両市の活性化につながります。また、災害時の相互応援協定も締結しており、両市の災害対策の強化にもつながります。